

## 第4学年 社会科学習指導案

### 1 単元名 くらしと土地の様子 ～観光のまち唐津 どうする？虹ノ松原～

#### 2 単元について

- 唐津には観光名所や伝統的な祭りがたくさんある。観光客が唐津に来ることにより、経済効果が見込めるため、唐津市も観光事業には力を入れているが、近年観光客が減少傾向にある。また観光名所の一つである虹ノ松原は、松くい虫の影響や他の植物が自生してくるなど、このままでは「白砂青松」で有名な松原を維持できない状況がある。

本単元は、観光資源を通して自分たちの町である唐津に関心をもたせ、虹ノ松原の現状について理解させる。さらに、虹ノ松原を守る対策を考えることを通して、これからの唐津市の姿について自分なりの考えをもつようにすることをねらいとしている。

- 児童は観光でいろいろな場所へ行っている。夏休みには、ほとんどの児童が他県まで旅行に行っているが、その観光地にある人々の工夫や努力については知らない。唐津の観光についても、唐津くんちなどで観光客が多く来ていることは知っているが、どのような努力や施策が行われているか理解している児童は少ない。

これまでに児童は、前学年の「くらしを守る（消防）」や「工場のしごと」の学習で意思決定をする学習をした経験はある。調べたことや資料を根拠に意見を出すことができ、また、判断をする時の観点が増え、少しずつ多面的に物事を見ることができるようになってきた。

- 指導に当たっては、観光客を増やすことが唐津の発展につながるという期待感をもたせ、自分たちで唐津の観光をどうにかしたいという切実感もち、望ましい唐津の在り方を考える児童を育てたい。

そのために、まず、「唐津のおすすめのスポットを紹介しよう」という学習問題1を設定し、唐津の観光地を調べることで観光に関心をもたせる。ここであらためて唐津にはたくさんの観光資源があることに気付かせたい。

次に、NPO法人「KANNE」の人に来てもらい、唐津の観光資源の一つである虹ノ松原の素晴らしさについて話をしてもらおうとともに、近年、虹ノ松原の維持が難しくなっていることを伝えてもらうようにする。

そこで、学習問題2「虹ノ松原を守るためにどうしたらいいか考えよう」を設定する。虹ノ松原を守るためのプランを考えさせ「確実に解決できるか（維持していけるか）」「みんなで協力してできるか」などの観点から、プランの比較検討をさせる話し合いの場を設定する。これによって、それぞれのプランで大事にしている点や問題点が整理され、そこから導かれる社会像が明確になる。なお、話し合いをさせる場面では、NPO法人「KANNE」の人にもう一度来てもらい、それぞれのプランについてアドバイスをしていただいたり、プランを採用していただいたりすることによって、児童がこれからの社会を志向する契機にしたい。

#### 3 単元の総括目標

唐津市の特色である観光を知るために、まず、自分で唐津の観光地について調べさせる。そして、虹ノ松原について聞いたことや各種の資料を通して、これからの唐津市の観光の在り方について自分の考えをつくり、自分の意見と友だちの意見を比べながら適切に判断することができるようにさせる。

#### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
唐津の観光地に関心をもち、人に聞いたり、資料を見たりして意欲的に調べようとする。	虹ノ松原を守るためのプランを具体的に考え、調べたことや話し合いで聞いたことをもとに適切に判断することができる。	虹ノ松原の現状を把握し、聞いたことや、各種の統計資料などを利用して、プランをまとめたり、話し合いで意見を発言したり、提案文を書いたりすることができる。	唐津の観光資源全般のことや虹ノ松原について理解している。

#### 5 単元の指導計画（全8時間）

	学習活動	教師の指導・支援	評価【評価方法】	時配
1	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">唐津のおすすめの観光地を調べよう</p> <p>唐津のたくさんある観光地の中からお勧めの観光地を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 唐津にはいい観光資源があることに気付かせるために、事前に家族や近所の人にインタビューさせる。</li> <li>○ 調べ学習では、パンフレットやインターネットを使わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光地を調べることができる。</li> </ul> <p>【ワークシート・行動観察】</p>	1
2	調べた観光地をみんなに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ なぜお勧めなのかはっきりさせるために、その理由を言わせる。(めずらしい、古い、みんなが大切にしている、きれいなど)</li> <li>○ どんな観光資源が多いのか気付かせるために、分類をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光地を紹介することができる。</li> </ul> <p>【ワークシート・発言】</p>	1
3	<p>NPO法人「KANNE」の人の話を聞く。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">虹ノ松原を守るためにどうしたらいいか考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 虹ノ松原のすばらしさを知るために、NPO法人「KANNE」の人に虹の松原について詳しく話をしてもらう。</li> <li>○ 最も大きい課題は虹ノ松原を維持することだということに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虹ノ松原の課題を感想に書くことができる。</li> </ul> <p>【ワークシート】</p>	1
4	<p>虹ノ松原を守るプランを作成する。</p> <p>【予想される児童のプラン】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A：みんなで松葉かきをする      B：通行料をとる</p> <p>C：薬の空中散布を増やす      D：ごみをへらそうキャンペーンをする 等</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な方法を知るために、他の松原での取り組み、菊池溪谷の清掃料、外国の入山料などを参考にさせる。</li> <li>○ 守らないという選択肢がでないように、日本三大松原といわれるほど、めずらしいということを意識させ、プランを作成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プランを作ることができる。</li> </ul> <p>【ワークシート】</p>	2

5	プランを出し合い，2つのプランに絞り，議論の準備をする。 【意思決定1】	○ 判断しやすくするために，支持が多い2つのプランに絞らせる。 ○ 議論に向けて，もう一度資料の確認をさせるため，「こうだよカード」に記入させる。	・ 議論をするための資料の準備ができる。 【ワークシート】	1
6	虹ノ松原を守るには，どちらのプランがよいのか議論を行う。 【意思決定2】	○ 比較しやすくするために，「確実に実現するか」「みんなのできるか」の観点を意識させる。 ○ 議論がどうだったか客観的に振り返るために，NPO法人「KANNE」の人にアドバイスをしていただく。	・ プランの選択をし，その理由を書くことができる。 【ワークシート】	1 本時
7	議論を振り返り，これからの唐津をどうするか自分の考えをまとめる。	○ これまでに学習したことを総合的に判断し，これからの唐津市の観光について考えるために，提案文を書かせる。	・ これからの唐津につながるまとめを書くことができる。 【ワークシート】	1

## 6 本時の目標

- 虹ノ松原を守るプランを友達の意見を聞いて自分の考えと比較し，目指す唐津の在り方を判断することができる。  
【社会的な思考・判断】

## 7 本時の展開（7／8）

学習活動	教師の指導・支援（○）と【評価】
1 本時の学習問題を確認する。	○ 虹ノ松原を守る方法はいくつかあるが，すべてをすることは不可能なので唐津市にとって最も有効な方法はどちらかを判断することを伝え，学習への目的意識を高める。
「虹ノ松原を守るプラン」を考えよう	
2 議論を行う。 (1)プランの確認をする。	○ 虹ノ松原を守るという視点から2つのプランに絞ったことを確認させる。 ○ 前時に決まったプランを提示し，根拠を基に議論を行うことを押さえる。
(2)プランの比較・検討をする。	○ 自分たちが作ったプランに思い入れがある児童が多いため，希望でプランA側とプランB側に分ける。 ○ それぞれのプランのメリットを「こうだよカード」を利用して説明させる。 ○ 児童はすぐに反論したくなるので，プランAの意見を言わせたと，プランBの意見を言わせる。 ○ デメリットについてもそれぞれで意見を言う時間を確保する。

	○ 友達の意見をしっかり聞けない子もいるため、メモはとらず聞くことに集中させる。
〈予想される児童の考えの例〉	
プランA：みんなで松葉かきをする	プランB：通行料を100円とする
○ 富栄養化にならず、他の植物が入ってこない。	○ 葉をまくためのお金ができる。
○ 一人一人が協力できる。	○ 楽に、松を守ることができる。
● 忙しいのに大変。	● 唐津の人が不便になる。
● 昔のようにねん料として使わない。	● 人けん費がかかる。
みんなで協力する社会	確実に実現できる社会
3 プランを選択する。	○ プランから、目指す社会像を意識させ、プランを選択させる。 ○ 比較を容易にするため、「本当にできそうなのはどちらか?」「みんなにできること?」の観点で○△×をワークシートに記入させ、理由を書かせる。 【評価】 ○ 前時に書いた判断理由と本時に書いた判断理由を比べさせることにより、自分の考えの変容を実感させる。
4 本時のまとめをする。	○ NPO法人「KANNE」の人に児童のプランについてアドバイスをしてもらい、今日の議論がどうだったのか客観的な意見を聞かせる。 ○ 次時の提案文を書くときの意欲付けになるように、今日の議論の内容を「KANNE」の人を通して、観光庁の人に伝えてもらうことを知らせる。

## 8 本時の評価

評価規準	これからの唐津の在り方について判断し、プランの選択をすることができる。 【社会的な思考・判断】		
評価の基準 →支援	A	B	C
	選択の理由に「例えば・・・」を使い、具体例を挙げることができる。	プランを選択し、選択の理由を1つ以上挙げることができる。 →他に理由はないか、または、具体的な例を挙げるように声を掛ける。	Bに達していないもの  (例) 選択の理由を挙げることができない。 →板書を基に自分の考えに近いものを書かせる。
評価方法	ワークシート		